

## 10/18 第三回プレゼンテーション集中講座 -Chunking&その他-

18:23-18:30 先週 2 週間の復習

1st: basic knowledge and skills about presentation、2nd: analogy and metaphor

18:30-18:33 プレゼンテーションと学術論文の違い...control, audience, time

18:35-18:45 chunking とは

18:45-18:58 chunk-up、chunk-down の練習

18:58-19:01 Body Language の重要性

19:05-19:15 第一回シンポジウム発表者のプレゼンテーション(中央の画面)→聞き取りやすい発音を心がけるべき

19:15-19:55 講座参加者によるプレゼンテーション

第三回目の授業では、主にプレゼンテーションにおける **chunking** の役割についてパワーポイントで説明がなされました。一方、ボディーランゲージや英語の発音については少し触れられる程度でしたが、口頭発表の練習においては非常に重要なので、このサマリーでは以下の項目についてアドバイスや参考サイト等についても詳述しています。

- (1) チャンキング
- (2) ボディーランゲージ
- (3) 発音
- (4) プレゼンテーションの英語表現

### (1) チャンキング

チャンキングとは目標や全体の位置づけを明確化し、具体的な計画を立てるための手法です。チャンキングにはチャンクアップ(chunk up)とチャンクダウン(chunk down)があり、チャンクアップは目標などを明確化するために、個別の課題をその上位のテーマ・カテゴリーの中で位置づけること、チャンクダウンは、問題点をより具体化するために、ある課題から下位の複数の課題を導き出すことです。

言い換えれば、

チャンクアップ...視点を木から森に移し、その「木」の森における位置づけを明確化  
チャンクダウン...視点を森から木に移し、森の構成要素である「木」に焦点を当てる

という感じです<sup>1</sup>。

プレゼンテーションにおいては、

Introduction(big picture=森)

【chunk down or chunk up】

↓

Main body(details=木)

↓

(chunk up)

↓

Conclusion(big picture=森)

というように、主に Introduction の Big picture(あるテーマの概要)部分で chunk up や chunk down を使うことが多いですが、conclusion の前に詳細内容から概要に話を戻すために再度 chunk up を用いることもあります。Introduction の chunk up と chunk down では、その目的・手段・問題点・具体例を導き出すという点で、発表テーマの定義づけ (definition)が必須となります。

#### Ex1) World peace

【chunk up】世界平和の目的とは→一企業が「世界中のどこでも同じサービスを提供できる/全世界に店舗を展開できる」環境の実現(同時に「世界平和」の定義づけも行っている)

【chunk down】世界平和を実現する手段→ 国内紛争解決の調停の手助けする国際 NGO・NPO の活躍の場を広げるために彼らに寄付を行う、地雷撤去作業(「世界平和」を定義した上での実現方法)。

#### Ex2) Finding a life partner

【chunk up】Life partner を見つける目的→幸せな人生を送るため、子供を生むため、老後助け合うため...

【chunk down】life partner を見つけるために何をすればよいか(手段)→学校/職場で彼氏/彼女を見つける、結婚相談所に登録する、知人に紹介してもらう etc

---

<sup>1</sup> Chunking は営業戦略を立てる際や社内コミュニケーションによく用いられます。例えば、「コンビニの新商品、新食感メロンパン」をヒット商品する戦略を立てたとします。この新商品をヒットさせるには、無料試食してもらう、SNS サイトの PR で商品紹介する、学割・団体割を適用する、など様々な方法(chunk down)がありますが、この新商品ヒットにこだわる理由・目的は、売り上げ伸ばすため(chunk up)であるた「目的をめ、無駄な PR にお金をかけすぎるのは本末転倒です。このように、「そもそもこの目的は何か」踏まえた上で、どのような手段が効果的か」を明確化するために有効です。

## (2)Body language

TED などのプレゼンテーション実例が参考になります。

[http://www.yodosha.co.jp/jikkenigaku/spirit\\_osm\\_vol9.html](http://www.yodosha.co.jp/jikkenigaku/spirit_osm_vol9.html)

## (3)発音

聞きとりやすい発音をするためには、自分のスピーチを録音して、どこが聞こえにくいかを把握し、その都度修正しながら何度も練習することが大切です。他にも、

- ・ 単語の発音・イントネーションを辞書で調べて正しく発音する
- ・ **syllable**(英単語の音節)を把握

ことが重要です。プレゼンテーションで話す英語のスクリプトを見たときに、すべての単語の発音記号・イントネーションが分かるくらい練習すると手応えを感じると思います。

そこで、少しでも"英語らしい"発音をしようとして陥りがちなのが、

- ・ 不必要に"r"の音を単語につける
- ・ **American accent** にこだわりすぎる

アメリカ英語、イギリス英語、オーストラリア英語、ニュージーランド英語は発音や言葉の使い回しが少しづつ異なり、基本的には、皆さんが学んできたアメリカ英語の発音(**American accent**)で差し支えないと思いますが、変に **American accent** をまねる必要はありません。「発音記号に則ったクリアな英語」で大丈夫です。

本プレゼンテーションでは、5 分間の短い時間で聞き取りやすい話し方をするために、短い/発音しやすい単語を使うよう心がけましょう。

英語の発音がよくなる 10 のコツ <http://hatsuon.msize.net/index.html>

インターネット上の英語の無料学習サイト [http://www.xiuyin.jp/web\\_english.html](http://www.xiuyin.jp/web_english.html)

## (4)プレゼンテーションの英語表現について

自分で英語のスクリプトを書くため、自分が話す英語が正しいかどうか不安に思う人も多いと思います。専門用語についてはその分野の論文や **google** で単語の使い方やコロケーション(単語の慣用的なつながり、言い回し)を自分で調べなければならないのですが、一般的

なプレゼンテーションでの英語表現については以下のサイトが参考になります。

- ・必携!学生のための英語プレゼンテーション

<http://www.kageto.jp/asep/2010/sample/index.html>

- ・ベストプレゼン <http://best-presen.com/column/clm10.html>

ちなみに、「ご静聴いただきありがとうございました」は、"Thank you for your listening" ではなく、"Thank you for your attention"の方が自然な表現です。